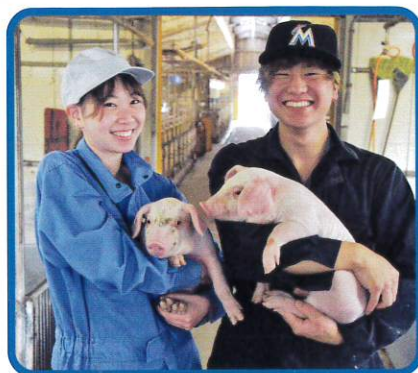


令和4年度
愛知県立農業大学校



学 校 案 内

農業をささえる担い手を育成しています



大 学 校 の 概 要

本校は、農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として農業後継者や農業の担い手を養成する県立の施設です。

昭和9年追進農場に端を発し、追進営農大学校、農業技術大学校との統合等、時代とともに変遷し現在に至り、県内で活躍している多数の農業経営者並びに農業技術者を輩出してきました。平成20年度に、教育部農学科は、学校教育法に基づく「専修学校」になりました。

目 的

農業後継者及び農業の担い手等に対し農業の実践教育及び研修を行い、本県農業の振興に寄与する。

目 標

- 1 農業者としての自信と誇りの醸成
- 2 農業に関する知識・技術・技能の習得
- 3 経営管理能力の養成
- 4 洞察力・応用力・創造力及び協調性の養成

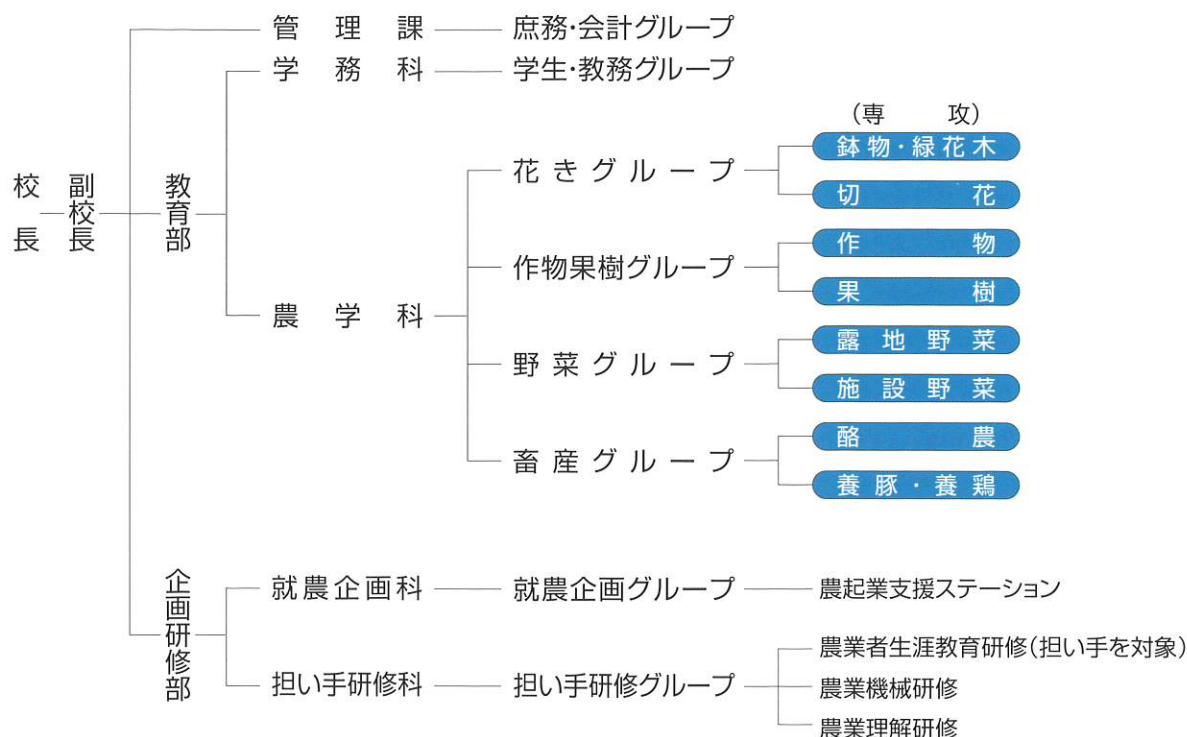
教育部

農学科 ● 高等学校若しくは中等教育学校卒業者を対象に2年間の全寮制による実践教育を基本として、【総定員200名】一般教養や農業の基礎的・専門的教育また先進農家への派遣実習等を通して農業の担い手を養成します。学校教育法に基づく専修学校で、卒業生には「**専門士（農業専門課程）**」の称号が付与されます。

企画研修部

農業者には発展段階に合わせた知識・技術・技能を習得するための研修、県民には食料・農業に理解と関心を深めるための研修を行います。

組 織



職員数

校長	副校長	管理課	教 育 部		企 画 研 修 部		計
			学務科	農学科	就農企画科	担い手研修科	
1	1	7 (2)	11 (6)	24 (5)	4	10 (6)	58 (19)

※教育部長は学務科の人員に含まれます。

※()内数字は非常勤職員数で内数です。

施設設備の概要

本学は、水田(3.3ha)・果樹園(2.2ha)・普通畑(8.6ha)の実習ほ場、充実した実験実習の施設・設備及び公安委員会指定運転試験コースを備えています。



中央教育棟



情報処理研修室



図書室



大講義室



教室棟



体育館



鉢物・観花木温室



切花温室



露地野菜ほ場



施設野菜温室



作物ほ場



果樹園



パーラー施設(フリーストール牛舎)



システム豚舎



鶏卵出荷調整



和耕家



農業機械施設



トラクター運転コース

教育部農学科

特徴

- 教育内容は主に農業経営者を目指した一般教養、専門科目の履修を行います。
- 専攻別に分かれ、少数精鋭の実習を主体とした実践教育を行っています。
- 2年間の全寮制です。なお、平成27年度に新寮が完成しました。
- 先進農家への派遣実習を実施しています。
- 1人1課題を設定しプロジェクト学習に取り組んでいます。
- オーストラリアにて7日間の海外派遣研修(ファームステイ)を実施しています。

行事・学習等

「農と食」の担い手にふさわしい知識と技術の養成を目指したカリキュラムが組まれています。



教室授業風景



海外派遣研修



体育祭



収穫感謝祭



卒論発表会



就職説明会



学生寮の食堂



東海近畿スポーツ大会



農大祭



カリフォルニア大学デービス校との交流



入学式



卒業式

専攻・学習等

実践力を養うための多種多様な実験実習、演習、実習科目をそろえています。

●鉢物・緑花木専攻

ガラス温室4棟、遮光ハウス1棟、露地ほ場などで、鉢花・観葉植物・洋ラン・緑花木・花壇苗等、多くの品目を栽培しています。

温室管理、澆水、施肥、病害虫防除等の栽培管理全般を学習するほか、市場出荷や直売を行うことで、販売方法やマーケティングについても学んでいます。

1年生の2学期には、鉢花・観葉・洋ラン緑花木の部門に分かれ、少人数体制による細やかな指導の下で、実践的な知識や技術を習得します。

2年生になると、担当する部門で責任を持って栽培管理に取り組みながら、プロジェクト学習を行います。近年のテーマは、省力化、低コスト化、商品価値の向上、新商品開発など多岐にわたっています。



●切花専攻

4棟のガラス温室や繁殖室、露地ほ場で、キクを中心に、バラ、カーネーション、ストック、ヒマワリなど、県内で生産の多い品目を栽培しています。一部の施設には、LED補光や炭酸ガス施用、高圧ミスト、ヒートポンプ暖房などを導入しています。

1年生の9月までは、すべての栽培品目について栽培管理を学び、10月からはキク、バラ及び洋花の3部門に分かれ、責任をもって栽培管理に取り組みます。生産状況を観察しつつ、必要な作業を学生と職員がともに考えながら学習を進めていきます。

1年生の後半からは、プロジェクト学習に取り組みます。テーマは栽培方法、品種比較、切花の染色方法の検討など様々ですが、いずれも単なる調査ではなく、品質向上やコスト低減、商品性向上など実際の農業経営の改善につながる課題を取り上げます。



●作物専攻

1haの大区画水田など大小9区画、計3.3haの水田ほ場で大型機械を利用し、水稻、小麦、大豆の栽培に取り組んでいます。また、育苗施設や乾燥調製施設を利用し、育苗から生産物の調製まで実習で行います。さらに、収穫物を利用した味噌や五平餅などの加工実習も行っています。

1年生では水稻栽培や機械操作の基本知識を身に付ける実習を進めています。

1年生の後半からプロジェクト学習が始まります。本校では農業総合試験場が開発した新品種や新技術をいち早く導入しており、これを題材にした新品種の栽培法、不耕起V溝直播栽培や稲WCSに関する課題、無農薬・無化学肥料栽培など付加価値の高い生産方法等に取り組んでいます。また、ICTを用いた営農支援システムを活用した農業経営手法についての学習も行っています。



●果樹専攻

果樹専攻は約2.5haのほ場で、ブドウ、ナシ、モモ、カキ、ハウスミカン、ハウスイチジク、ブルーベリー等を栽培しています。2年生を中心に構成される少人数の6つの品目担当(班)が1年間の目標や課題を掲げ、各品目ごとに栽培、販売、加工など主体的に取り組めます。この各品目班を一つの経営体と見立てた模擬経営と農大産品のブランド化に向け、学生による様々なアプローチが試みられています。1年生は先輩の取り組みや派遣実習を通じ技術や考え方を学び、2年生は培った力で判断し周りに指示を出し各品目班(専攻)を回していきます。

また、県内果樹農家への就農を希望する学生が新規就農や雇用就農を目指せるよう、経営感覚を培う実践的な実習、師弟関係を築く農家派遣実習、地域への入り口となる産地との連携等を支援しています。



教育部農学科

専攻・学習等

●露地野菜専攻

露地畑1.5haでキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、スイートコーンを中心に県内の主要野菜に加え、新品目も取り入れて約40品目程度を栽培しています。また、イチゴは本専攻で取り組んでおり、高設栽培においてICTを活用した施設内環境のモニタリングを行っています。

露地野菜の実習は、天候に左右され、作業時間が長く大変ですが、農業機械を駆使して2年生と1年生が協力して取り組んでいます。

プロジェクト学習は、2年間で1人2課題を実施します。学生自身が品目と研究テーマを決めて試験設計及び栽培計画を立て、播種から収穫・調製まで責任を持って管理しています。学生は実習やプロジェクト学習を通して、農作業機械の操作方法や実践的な栽培技術、経営管理能力を習得します。

今年度のプロジェクト学習のテーマは、「イチゴの葉面散布による糖度への影響」、「キャベツのたい肥の種類の違いによる収量への影響」などです。



●施設野菜専攻

本専攻は11棟ある温室で、トマト、ナス、キュウリ、温室メロンを中心に栽培しています。最近では、土耕栽培に加えて、水耕栽培、ココバック栽培、袋培地栽培、少量培地密植栽培など、県内の現場で普及している最先端の栽培システムを導入しています。また、農業総合試験場や種苗会社と連携を図り、今後普及が見込まれるナスの単為結果性品種適性試験やトマトの耐病性品種など最新技術の実証栽培に取り組んでいます。さらに、トマト栽培では、炭酸ガス発生装置、ミストなど環境制御機器を導入したICT温室が整備されています。

本専攻では、1年生の前期は主要品目の基礎栽培について幅広く学び、後期から卒業までの間に自分の希望する品目について研究テーマを設け、より専門的な実践技術を習得しています。

プロジェクト学習では、2年間で1人2課題を実施します。本年度は「ICT温室40tどり栽培の実証試験」や「県が育成したナス単為結果性品種の特性調査」などに取り組んでいます。



●酪農専攻

新日4つの牛舎でホルスタイン種の搾乳牛約25頭、育成牛約25頭、肥育牛約30頭および繁殖和牛5頭を飼育しています。また、自給飼料として牧草やトモロコシ等を生産しています。

学生は、酪農を中心に肥育牛を含めた飼養管理技術を習得します。在籍する学生のうち約3割を女性が占めます。ほとんどが非農家出身者であり、多くの学生がここで初めて本格的な酪農作業を経験します。

初めて牛に触れる新入生も、2年生の助言を受けながら搾乳や給餌、除糞など基本的な管理作業を習得し、牛の扱い方に慣れていきます。酪農家や外部講師を招いて講義を受けたり、農協などの関係機関や団体の支援を得て牛の共進会に出品する技術を磨いたりします。2年生はより高度な技術習得とともにプロジェクト学習を行います。テーマは搾乳牛や子牛の飼養管理、繁殖、環境問題など多岐にわたります。

畜産の中では唯一、一般の見学を受け入れ、本校周辺の児童、園児などが家畜とのふれあいのため訪れています。



●養豚・養鶏専攻

最近は県外出身者を含めて在籍する学生が増え、賑やかになっています。1年生の4月は養豚、養鶏の両方を学びますが、5月には本人の希望に沿って、豚と鶏のコースに分かれ、それぞれの飼養管理を習得していきます。

養豚コースでは、県の系統豚であるアイリスを用いて豚の交配から肉豚出荷に至るまでに必要な技術と知識を学んでいます。また、深部注入人工授精やホルモン剤による発情の同期化など、新しい技術も積極的に取り入れています。

養鶏コースでは、開放・ウインドウレスの2種類の成鶏舎で名古屋コーチンを主体とした採卵鶏の飼育管理と、ウインドウレス育雛舎で初生雛からの育成管理を学びます。また、毎週水曜日の実習販売では、鶏卵の直売を通して販売管理を経験し消費者のニーズに触れることができます。



年間教育計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	入学	学習期間			夏休	学習期間	派遣実習		学習期間	冬休	学習期間	春休
2年	春休	学習期間			夏休		学習期間		冬休	総括学習	海外派遣研修	卒業

教育科目 ● 講義(17.5%) 演習・実験(26.3%) 実習(56.2%)

教養科目 ● 暮らしと経済 暮らしと法律I 自然科学 生物学実験 実践英語 体育

専門科目 ● 農業経営I 農業政策 農業簿記 土壌肥料学 経営管理
 経営管理演習 土壌肥料学実験 農業機械利用 情報処理演習 育種と採種
 農業機械実習 GAP概論並びに環境保全と農業 植物生理 病虫害と防除計画
 土壌と施肥設計 家畜栄養 家畜育種 家畜繁殖 家畜生理
 飼料作物 海外派遣研修 農家派遣実習 卒業論文

選択科目 ● 暮らしと法律II 労働の科学 健康と栄養科学 農業経営II 実用数学
 農村生活環境 作物学概論 園芸学概論 文章表現 農業時事
 バイテク論 畜産学概論
 資格取得講座(毒物劇物取扱者、危険物取扱者、ボイラー取扱者、大型特殊免許等)

資格・免許 ● 在学中に取得することができる資格、免許
 毒物劇物取扱者 大型特殊・けん引免許(農耕車限定) 危険物取扱者 ボイラー取扱
 小型車両系建設機械 フォークリフト 刈払機 家畜人工授精師 日本農業技術検定

学費等(1年間)

入学金 5,650円(入学時のみ) ※令和3年度の金額です。

授業料 60,000円

寄宿舎使用料 32,400円

(左記の他に、教材費(海外派遣研修費用を含む)・光熱水費等として実費相当分(500,000円程度)及び寮での食事代が必要になります。)



先輩達からのメッセージ

永坂 博登さん[鉢物・緑花木専攻]

鉢物・緑花木専攻では、鉢花、観葉、洋ラン、緑花木の4部門に分かれ、それぞれ専門的に栽培方法を学んでいます。水曜日には直売があり毎週参加し、12月の農大祭では

体育館を全て使って大規模に花の販売を行っています。

農大は実習が中心で、自分で担当している植物を大切に育てて販売を行い、責任を持って実習することを心がけています。先進的な農家への農家派遣実習などもあり農業についてより深く学ぶことができる学校だと思います。

私の家は農家で卒業後就農しますが、求人も多く幅広く進路が選べるので、卒業後の進路も決めやすいと思います。他にも多くの魅力がある学校なので、就農や農業に関わる仕事をしたいと思っている人は、是非来てください。



先輩達からのメッセージ

鈴木 爽真さん[果樹専攻]

私の家はブドウを生産・販売している専業農家です。幼い頃から実家の農業を継ごうと思っていましたが、一般教養を学ぶために地元岡崎市の普通科高校に進学しました。そ

して、実家を継ぐための農業の基礎知識と、技術を学ぶために、農業大学校に進学しました。果樹専攻では、ブドウ、ナシ、モモ、ミカン、イチジクなどさまざまな果物を栽培・販売しています。本格的な実習により、本場に近い雰囲気です。

農業大学校では、専攻実習が多く、知識だけでなく経験を積むことができる所です。トラクターやスピードプレーヤーなど様々な機械に触れることもできます。

農業が好き人や、興味を持っている人、進路に迷っている人は、ぜひオススメです。一緒に楽しい農業Lifeを送りましょう。

教育部農学科

卒業後の主な進路

- 就農 50%程度 (自営、雇用就農、将来予定含む)
- 就職 40%程度 ●進学、その他 10%程度
- 主な就職先 (順不同、令和元～3年度実績、一部に研修を含む)

農協関係 ●	JAあいち経済連	JAなごや	JA愛知西	JAあいち尾東
	JAあいち海部	JAあいち知多	JAあいち中央	Aあいち三河
農業関連企業関係 ●	JAひまわり	JA豊橋	JA愛知みなみ	JA伊勢
	豊橋温室園芸農協	愛知県酪農協		
農業法人関係 ●	(株)東海近畿クボタ	ヤンマーアグリジャパン(株)	日本ニューホランド(株)	(株)オセキ関西中部
	(株)コメリ	DCMカーマ(株)	(株)パローHD	(株)アグリコ中部
青果物等流通関係 ●	豊明花き(株)	(株)坪井花苑	トヨタネ(株)	(株)中神種苗店
	服部農園(有)	(有)鍋八農産	(株)アグリみかわ	(有)ファームズ三好
公務員関係その他 ●	(農)若竹	(有)ゴトーアグリ	(有)こだわり農場鈴木	(株)オペレーター加藤
	(株)山銀	(株)上原農園	(有)下村畜産	(株)福井牧場
公務員関係その他 ●	(有)エル・ファーム・サカキバラ	(有)環境テクシス	(株)星川畜産	(有)石川養豚場
	一宮市浮野養鶏(株)			
丸進青果(株)	愛知県中央青果(株)	中部グローバル青果(株)	(株)名港フラワーブリッジ	
愛知県職員(農業総合試験場、畜産総合センター、農業関係高等学校)				
愛知県農業信用基金協会	(一財)日本穀物検定協会			

●主な研修・進学先(令和元～3年度実績)

- 研 修** ● 海外研修(アメリカ オーストラリア) 国内研修(農業法人 先進農家)
- 進 学** ● 4年制大学農学系学部3年次への編入(岐阜大学 信州大学 島根大学 帯広畜産大学 他)
日本農業経営大学校 タキイ研究農場園芸専門学校 全国食肉学校



先輩達からのメッセージ

三浦 彩加さん[露地野菜専攻]

私の実家は田原市でキャベツを栽培している専業農家です。幼い頃から農作業の手伝いをしてる内に野菜栽培に興味を持ち、野菜栽培について学ぶため農業高校に進学し、さらに実践的な栽培技術を学ぶために農業大学校へ進学しました。

農業はしんどいというイメージがありますが、なるべく大型機械を使って省力的に作業できるよう、大型トラクターを使った耕うん作業、定植機や乗用管理機など運転作業を学ぶことができます。また、自分が担当する作物は播種から収穫出荷まで責任を持って管理をします。私が受け持つ畑は、竹を粉碎したチップを施用して土作りをしてからキャベツを栽培しました。

また、農大の寮生活は同じ目的を持った学生が集まっているので、友達もすぐできて楽しい学生ライフを送ることができます。

将来、農業関連の仕事に就きたい人は農業大学校で一緒に学びましょう。



先輩達からのメッセージ

山田 拓実さん[令和3年度卒業]

愛知県立農業大学校の1番の魅力はなんと言っても寮生活です。現在は新型コロナウイルスの影響で色々な面で制限がありますが、それでも友達とご飯を食べ、風呂に入るなど毎日一緒に過ごせるのは他の大学には無い、とても楽しいものです。寮生活をしたことがなくて不安だという人もいるでしょうが、寮の生活は思っているほど難しく無いですよ！

寮で生活していく中で、同じ時を過ごした友人は卒業した後もかけがえない友となることでしょう。

座学や実習面では専攻別に分かれ、基本的なことから実践的なことまで学べるので農業高校生は勿論、普通科高校の人でも安心して学習や実習をすることができます。1年生では農作業や農家生活を実体験できる農家派遣実習、2年生になると海外派遣研修に行くなど国内外の農業を楽しく学ぶ機会があります。

ここで全てを語りきることはできません。農大に興味のある人は是非、入学して見てはどうでしょうか？

海外派遣研修

農学科では、国際性を身につけ、グローバルな視野で農業を見る感覚を習得する目的で、2年次に1週間の海外派遣研修を実施しています。例年、オーストラリアでのファームステイを通して、現地での食生活や生活習慣、農作業等を体験します。専攻別視察では、現地の農家等を視察し、農業事情を学びます。

また、市場を見学する中で日本の市場との違いやマーケティングについても学びます。

初めて海外に行く学生も多く、通常ではできない経験や、ホストファミリーとの英会話を通して、自身で培ってきた語学力を試す良い機会ともなり、将来の就農・就職等において有意義な研修となります。

※令和2年度以降は、新型コロナウイルスの感染症の影響により中止しています。



農家派遣実習

先進農家等の優れた知識・技術を体験させ、今後の勉学に役立たせる目的で、1年生時の9月中旬から10月下旬の約40日間にわたり農家への派遣実習を行います。

派遣実習は宿泊もしくは通学で研修を行い、農家生活を体験します。実践的な生産技術や経営方法、経営観に触れるとともに、多くの関係者と交流する機会を得て地域との関わりを知り、本校にいてだけではわからない農業を肌で感じ学ぶものです。また、農業について漠然としたイメージしか持っていない非農家学生が実際の農業経営に触れる事により、将来自分の進むべき道が農業か否か、またどんな経営に携わりたいのかを選択する、いわばインターンシップとしても位置付けています。

派遣実習に参加した学生からは、「大変ながらも貴重な体験をした」「学校では学べない知識技術を知った」の他、「コミュニケーション能力の大切さが身に染みてわかった」「自分の甘さを知り今後の自分を鍛え直したい」などの感想が寄せられています。



卒業生からのメッセージ

中村 彩乃さん[令和3年度卒業]

私は、猿投農林高校で畜産を専攻していました。高校の専攻実習で自分で育てた豚を食べるとい経験をし、命の有難みを知り、養豚に興味を持った事が農大に入学したきっかけです。

農大では、母豚20頭を飼養しており、年間400頭の肉豚を出荷しています。交配から出荷までの一連の作業を通して、実践的な飼養管理技術が学べるので、将来養豚を目指している方には非常に充実した実習になります。

農大での時間は2年間と短いですが、寮生活での友人や仲間との思い出は非常に濃く、これからの人生においても二度とない楽しい時間を過ごせます。

また、派遣実習や会社見学など、農家さんの仕事を実際に見る機会が得られるのも、農大の魅力の一つだと思います。農業に直接触れる機会が少ない今の時代、農大に入学して農業の楽しさを肌で感じてみませんか。

中村さんは、令和2年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会意見発表の部で最優秀賞(経営局長賞)、令和3年度第32回ヤンマー学生懸賞論文で大賞を受賞しました。



卒業生からのメッセージ

小野田 裕二さん[平成2年度卒業]

私が農大にお世話になったおよそ30年前は、入学者は殆どが農業後継者でしたが、近頃は非農家の学生さんもかなり多いとお聞きます。時代は農家のための農業からビジネスとしての農業へと転換が進んでいるのかもしれませんが、いずれにせよ、農業に明確な答えは無いと感じています。そこで提案するのが農大への進学です。社会が高速で変化する今だからこそ、答えは見つけないのではなく作るものだと考えます。その要素が農大には沢山あると思います。同窓生が多いこと、社会に出てからもずっと関係が続く先生方、専攻を超えてつながる先輩後輩、新しい情報を取り入れようとする学校の姿勢など、いずれ答えに繋がるピースが山盛りです。卒業生として率直に「ここ卒業しといてよかった...」とこの歳になって実感しています。挑戦すること、新しい事を生み出すこと、円滑な人間関係を築くことが私の人生の三大テーマです。そして実行中です。在学中に気づいた思考です。感謝しかありません。愛知県立農業大学校、お薦めしたい学校です。

小野田さんは、平成25年度農林水産祭において、農林水産業者の最高の栄誉である天皇杯を受賞しています。

教育部農学科

学生寮での生活

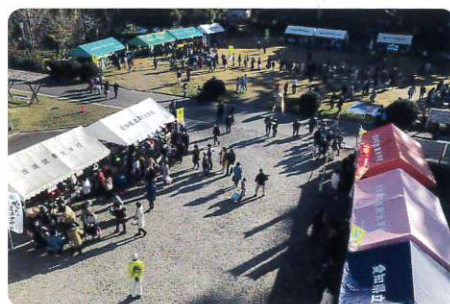
農学科の学生は、全寮制による共同生活を送ります。学生寮は、平成28年1月に建て替え、「和耕寮」と名付けられました。全室個室で、各部屋にはエアコン、ベッド、学習机、クローゼット、Wi-Fiが設置されています。共同施設として、トイレは全て洗浄便座付きの洋式で、男女別の大きな浴場があります。食事は、寮に併設された食堂で休日以外の朝・昼・夜の三食をとることができます。この他にも友人と歓談できる共有スペースも設置しており、快適な生活を送ることができます。



農大祭

農業大学校最大の行事が農大祭です。地域の皆様との交流を図り、愛知県の農業の魅力を県民の皆様にご覧いただくことを目的に毎年12月の第1土曜日に開催しています。農大生が丹精込めて育てた自慢の農畜産物の販売や学生手作りの加工食品のバザー、農業大学校に関わる農業団体・企業の出展、農大キャンパスツアーなど、農業大学校を身近に感じて楽しんでいただける催しを行います。

令和4年度は12月3日(土)に開催します。



〔令和3年度の主な販売品目〕

花き：シクラメン、ハボタン、キク、バラ、ストック

作物：コシヒカリ、あいちのかおり、もち米

果樹：ナシ、ブドウ、ジャム

野菜：ブロッコリー、ホウレンソウ、レタス、ハクサイ、トマト

鶏卵：名古屋コーチン、紅白ミックス等の各種鶏卵



クラブ活動

農業大学校では、学生生活を健全で有意義なものとするため、学生が組織するスポーツ・文化・教養等のクラブ活動を支援しています。

令和4年4月現在、次のクラブがあります。

【体育関係】

野球、テニス、陸上、フットサル、バレーボール、
バスケットボール、バドミントン、卓球

【文化関係】

茶道、軽音楽、写真、農業商人塾



また、東海近畿地区の9校の農業大学校生が一堂に会して行われる「東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会」では、クラブの部員が中心となって参加し、毎年優秀な成績を収めています。

令和3年度の和歌山大会、令和2年度の京都大会は、コロナウイルス感染症のため中止となりましたが、令和元年度の三重大会では、団体競技で野球、バレーボール、テニスの3競技で優勝したほか、個人競技では、卓球女子ダブルス、バドミントンで男子と女子それぞれダブルス、テニスで男子ダブルスの種目で優勝しました。



オープンキャンパス

農業大学校への理解を深めてもらうため、オープンキャンパスを開催します。

- 内容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び受験相談
対象 ● 農業大学校への入学に関心のある方及び県民の皆様
開催日 ● 第1回 令和4年 6月 4日(土)
第2回 令和4年 6月18日(土)
第3回 令和4年 7月26日(火)
第4回 令和4年 8月 2日(火)
第5回 令和4年 8月23日(火)

問い合わせ ● 愛知県立農業大学校 教育部学務科 学生・教務グループ
(電話)0654-51-1602(ダイヤルイン)

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止や変更する場合があります。
事前にホームページで確認をお願いします。



参加者の感想・意見

- 実際、オープンキャンパスを見学してみて、自分が思っていた雰囲気とか、それぞれの特色とか、実際に来てみてから変わったものも多くて、すごくためになりました。
- 四年制大学と農大の違いをわかりやすく説明していただきました。普通科、農業系高校など、生徒の出身にも配慮された内容でわかりやすい内容でした。
- とても敷地が広くて驚きました。見学もいろいろ回っていただきありがとうございました。
- 学生さんのリアルな話がとても参考になりました。入学できたらうれしいです。
- 清く明るい雰囲気や、いきいきしているのが、伝わってきました。

企画研修部

特徴

- 農業者や新たに農業を目指す人達を対象に、農業に関する知識・技術・技能を習得するための「農業者生涯教育研修」を実施します。
- トラクターなどの農業機械を安全・効率的に使用するための「農業機械研修」を実施します。
- 県民を対象に、食料・農業・農村に対する理解と関心を深めるための「農業理解研修」を実施します。
- 本校の施設を積極的に活用して多くの県民が参加できる農業とのふれあいの場づくりを進めます。
- 新たに「農起業支援ステーション」を設置し、県内全域の就農に関する情報提供や就農を希望する人達を対象に、就農相談を行います。

農業者生涯教育研修

ニューファーマーズ研修

Uターン就農者、新規参入者を対象に、農業経営に必要な基礎知識・技能の修得を図ります。

農業者育成支援研修

新規就農希望者を対象に、就農に必要な基礎的な経営や技術に関する知識及び露地野菜栽培に関する技能の修得を図ります。

農業技術研修

新たに農業経営を開始したり農業法人等へ就職を希望する離職者等を対象に、約9カ月間、農業に関する基礎知識・技術の修得を図ります。

経営管理研修

経営管理能力・分析能力・企画能力・危機管理能力等の向上を図るため、必要な知識・技術の習得を図ります。

生産高度化研修

野菜や畜産など生産部門別に新技術及び経営に関する知識の習得を図ります。

農産物利活用研修

農産物及び農産加工品のマーケティング等を学びます。

G A P 研修

農業経営の改善につながるGAP(農業生産工程管理)の取組を広く普及させるため、必要な知識の習得を図ります。

女性農業者支援研修

女性農業者を対象に、農業経営の向上に必要な知識の習得を図ります。

農業経営塾

優れた経営感覚を備えた農業者を育成するため、経営に関する高度な知識の修得を図ります。



農業機械研修

道路交通法に従い、安全に農耕車を運転する免許を取得します。

大特免許研修

けん引免許研修

トラクター作業研修

労働安全衛生法に基づく資格を取得します。

フォークリフト研修

小型車両系建設機械研修

刈払機研修



大特免許研修



小型車両系建設機械研修



トラクター作業研修

農業理解研修

県民公開講座

県民を対象に、農業・食料に関する理解を深めるための研修を実施します。

農業ふれあい研修

小中学校の先生を対象にした夏野菜栽培セミナーを開催します。

農福連携支援研修

福祉事業所職員を対象に、野菜栽培の基礎を習得するための研修を実施します。



県民公開講座



農業ふれあい研修



農福連携支援研修

就農相談

農起業支援ステーション

県下の就農相談窓口として、令和3年4月に新たに企画研修部 就農企画科内に設置されました。

県内8か所の農業改良普及課内に設置されている「農起業支援センター」と連携して、新規就農希望者の就農相談や就農に関する情報提供等、円滑な就農に向けた支援を行います。

主な業務

- 就農プランの作成支援
- 定期的な就農説明会の開催
- 県外など遠隔地の就農希望者とのリモート相談
- 就農に関する各種情報の提供

など



就農相談会



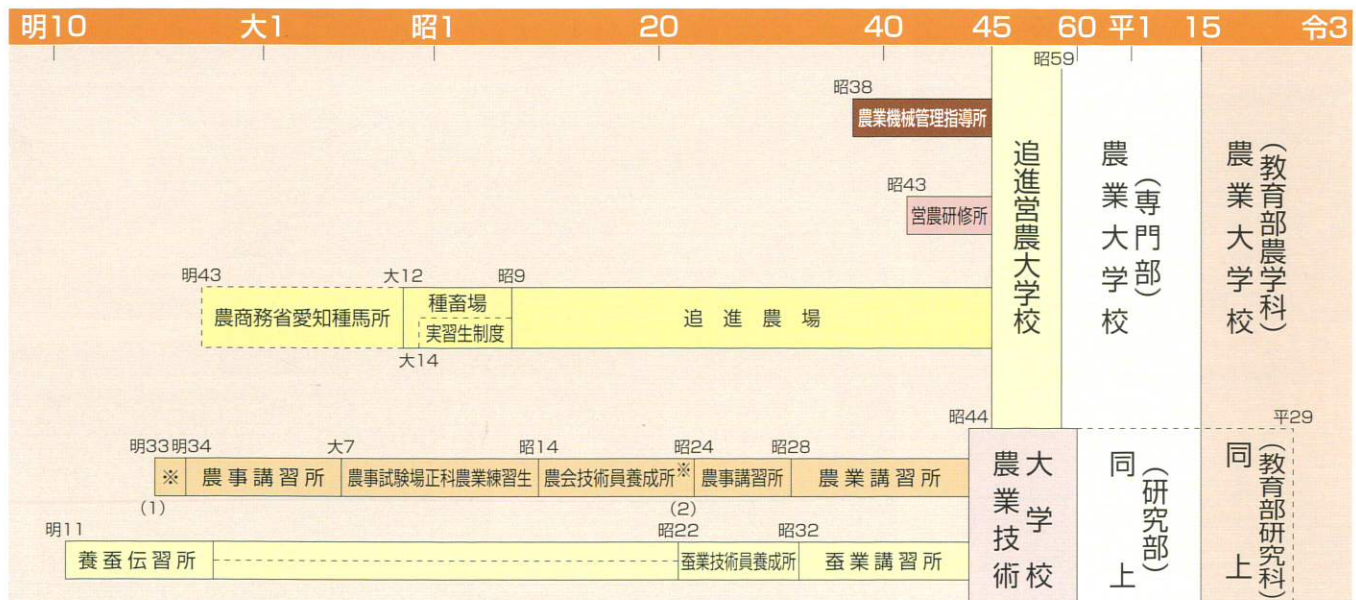
就農説明会

用地・施設の概要

◎総面積38.99ha

施設	棟数・面積等
中央教育棟 教室等 体育施設 学生寮・食堂 旧本館	1棟 2,500㎡ 教室棟1棟 2,313㎡、追進館1棟 490㎡、バイテク馴化温室1棟 214㎡ 体育館1棟 821㎡、運動場 11,880㎡ 和耕寮1棟 4,722㎡ 1棟 835㎡(西三河農林水産事務所農業改良普及課岡崎駐在室)
専攻別施設 鉢物・緑花木 切花物 果樹 露地野菜 施設野菜 酪農 養豚・養鶏	管理棟1棟 110㎡、温室4棟 1,240㎡、遮光施設 302㎡、資材棟1棟 231㎡、緑花木ほ場 3a 温室4棟 1,251㎡、繁殖室 255㎡、出荷調整室1室 117㎡、露地ほ場 2a 管理棟1棟 207㎡、作物収納庫 102㎡、水稻育苗室1棟 113㎡、水田 330a、 米乾燥調製学習施設1棟 63㎡ 管理棟1棟 211㎡、附属施設1棟 17㎡、ブドウ園 80a、ナシ園 40a、カキ園 98a、モモ園 30a、 ブドウハウス1棟 520㎡、ミカン・イチジクハウス1棟 648㎡、ブドウパイプハウス 1,214㎡ 管理棟1棟 134㎡、野菜畑 150a、イチゴハウス1棟 475㎡、育苗ハウス 475㎡ 管理棟1棟 151㎡、温室6棟 2,430㎡、育苗施設1棟 360㎡、ハウス4棟 1,440㎡、 ポイラー室1棟 24㎡ 管理棟1棟 137㎡、乳牛舎1棟 1,074㎡、肥育牛舎1棟 432㎡、育成牛舎2棟 1,271㎡、 ハーベストサイロ1基、わら庫1棟 202㎡、飼料敷料庫1棟 393㎡、家畜糞尿処理施設1棟 368㎡、 堆肥舎1棟 165㎡、飼料作物ほ場 575a 管理棟1棟 65㎡、システム豚舎1棟 393㎡、堆肥発酵施設1棟 222㎡、繁殖豚舎1棟 204㎡、 畜産雑排水処理施設 704㎡、ウインドウレス成鶏舎1棟 162㎡、ウインドウレス育雛舎1棟 93㎡、 モニター式開放鶏舎1棟 180㎡、鶏卵検査施設1棟 177㎡、鶏糞処理施設1棟 220㎡
研修用施設 農業機械施設	機械研修棟1棟 324㎡、機械教室1棟 143㎡、機械庫2棟 813㎡、作業機庫1棟 300㎡、 給油取扱所2棟 37㎡、運転管理室1棟 45㎡、運転コース1面 13,662㎡、トラクタ 15台、 作業機 36台等
生産物流通管理施設	1棟 680㎡

沿革



注(1) ※農事研究生制度(農事試験場内) (2) ※昭和19年愛知県農業技術員養成所と改称

学生募集に関する詳細は、愛知県立農業大学校教育部学務科(電話0564-51-1602)又は最寄りの農林水産事務所農業改良普及課へ問い合わせてください。

なお、募集案内等、出願に必要な書類の郵送を希望する人は、『学生募集案内希望』と朱書し、あて先明記の返信用封筒(24cm×33cm、郵便切手205円分を貼ったもの)を同封して愛知県立農業大学校に申し込んでください。

また、インターネットホームページにも掲載してあります。

農業大学公式HP

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



Instagram



Twitter



所在地と交通案内

〒444-0802

岡崎市美合町字並松1-2

TEL 管理課(0564)51-1601

学務科(0564)51-1602

農学科(0564)51-1673

企画研修部(0564)51-1034

FAX(0564)51-4831

- 名鉄美合駅下車 徒歩約10分
- 東名岡崎インターチェンジから車で約10分
- JR岡崎駅下車 名鉄バス「東岡崎(緑丘経由)」か「市民病院(美合経由)」行きで「平地」下車 徒歩約5分

